

ゾーン	当初のグランドデザイン案	整理の考え方
①ゲートウェイゾーン	神戸空港国際線・IRを見据えた玄関口機能強化	外部要因は記載せず『広域交通ネットワークを活かした交流拠点形成』として整理。
	岩屋PT・交流の翼港・津名港・東浦BT	個別施設名は基本構想から整理し、『交通結節機能の充実』として基本計画へ反映。
	アーバンリトリート	市民にわかりやすい表現として『都市と自然が調和した滞在・交流環境』へ整理。
	クリエイティブワーカー等	市民にわかりやすい表現として『交流人口・関係人口の拡大、多様な人材との交流』として整理。
②国生みものづくりゾーン	国生み神話・香・アート	歴史・文化資源を活かした地域づくりとして整理。
	線香・電気・機械等の製造業	『地場産業・ものづくり産業の振興』として整理。
	公営住宅の有効活用	『定住環境の充実』として整理し、具体は基本計画へ。
	多賀小学校跡地・伊弉諾神宮周辺	『歴史・文化資源を活かした交流拠点形成』として整理。
③都市拠点ゾーン	医療・福祉・教育・商業施設集積	『都市機能拠点の形成』として整理。
	津名港・東浦BT再整備	再整備事業は基本計画で整理。
	定住人口の増加	『暮らしやすい生活拠点の形成』として整理。
④ファーム＆カルチャーゾーン	五斗長垣内・舟木・古道・野島断層	『歴史文化資源の保存・活用』として整理。
	土地改良区・クラインガルテン・農家レストラン	『農業・地域資源を活かした交流・高付加価値化』として整理。
	新規就農者・企業参入	『農業の担い手確保・企業参入の推進』として整理。